

勤務医部会だより

新豊川市民病院の紹介



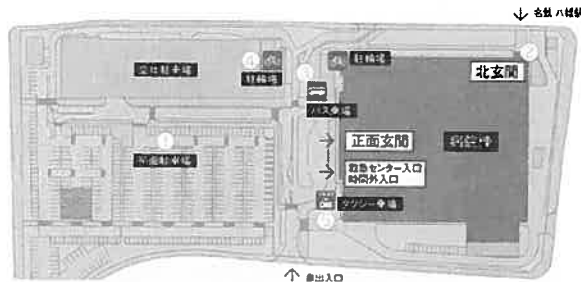
幹事 吉野内 猛夫

5月1日待望の新病院が開院いたしました。新病院は、敷地面積41,876㎡で名鉄豊川線八幡駅に隣接し、西側を走る国道1号線からも近い交通至便な立地です。建物は免震構造9階建て、延床面積は44,670㎡旧病院の1.9倍の広さがあります。駐車場は、平面が402台、立体駐車場は806台で計1208台、駐輪場は264台が収容可能です。病床数は101床増え、一般病床440、精神病床106、結核病床8の554床となりました。

1階には、救急センター、放射線画像センターを配置しました。救急センターは、新たに救急科を立ち上げ救急車のお断りゼロを目標に、数年後の救命救急センターの認可を目指しております。放射線画像センターでは、血管撮影装置を1台から2台に、CTを2台から3台に増設し、また東三河初の3テスラのMRIを導入しました。正面玄関左手には、コンビニ、コーヒーショップ、食堂を配置し、ショッピングセンターのモールのような雰囲気で来院者の憩いの場となっています。2階は外来フロアで、立体駐車場の3階と結び、外来患者が駐車場から直接外来に来院できるようにしました。外来は、2・3階を吹き抜けとし中央に広いモールを設け、左に診察室、右に処置室、生理検査室、内視鏡センター、化学療法センター、血液浄化センターを配置し、外来患者が2階フロアだけでほとんど全てのことが足りるように配慮し、外来患者と入院患者がなるべく顔を合わさなくて済むように配慮しました。3階は手術室8室と新たにICU、HCU、救急病室20床をつくりました。その他医局、研修センター、事務局、院内保育所があります。4階は精神科病棟で、106床のうち精神科患者の身体合併症が多いことから、身体合併症病棟24床を新設し1年後の運用を目指しております。5階から9階が一般病棟です。1病棟は39~46床、個室率は28.4%で今まで以上に重症患者に対応できるようになりました。6階の産科病棟

にはバースセンターを、7階の血液内科病棟には無菌室を4室設置しました。また、産科と婦人科の病棟を分け、9階に婦人科病棟を含む女性専用の病棟を設けました。ユニバーサルデザインを全面的に取り入れ、省CO₂、省エネ対策を施し明るく快適な医療環境を実現しました。災害対策としては、免震構造に加え平面駐車場の一角にヘリポートを設けました。また1階の講堂と2階の外来フロアに配管を設置し被災者の診療にあたります。

このように新病院は、診療機能の充実による安全で質の高い医療の提供、救急医療の充実、災害拠点病院としての機能を有し、東三河の中核病院としての役割を果たしていきます。



平面図



病院外観



2階外来フロア

(豊川市民病院)